



愛の支柱を
据えましょう



会長 森 正栄

キラキラ光る緑の葉っぱが青空に映え、栄光台を渡る薫風は馥郁としております。

14081名の同窓会員の皆様には、この会報が若く多感で楽しい仲間であった短期大学時代を回想される一時になりますよう、願いを込めてお届け致します。

同窓会は、同じ学び舎に学び巣立った者全員の組織であり、北陸学院短期大学の名の元に、互いにうちとけ合える意識があると信じます。

本会には、今や揺ぎない活動の柱が5本あります。年度の初めに開催する総会・同窓会報の発行・蚤の市・クリスマス礼拝と集い・新入生の歓迎式です。蚤の市・クリスマス礼拝・歓迎式は、まだ各学科が各々の同窓会活動をしていた頃並行して短期大学同窓会が誕生し、熱意ある協力と母校への思いの中から育てられた伝統ある行事であります。回生委員・幹事・役員の方々が、私達の短大卒業生らしい豊かな力と人間性を発揮されて充実した催しであり、その上に同窓の友としての和と愛を憶える恵みの時であると感謝しております。

同窓会は同窓生全体のものであり、多くの会員が集うことこそ大切と思っております。回生委員の方には、これからどうかリーダーとなってクラスの融和をはかっていただき、行事の際には大勢のお仲間を誘い合わせての参加をお願いしたいと思います。その時が旧交を温める楽しみと、情報交換等で学びの場ともなりましょうし、懐しい先生方との再会や母校の様子を知ることでもありましょう。

その母校では、来年4月に変革と前進がみられます。詳しくは後の誌面に記載されていますが、短期大学がこれ迄果たした役割を維持しながらも、さらに時代のニーズに応えての発展のために、それと共に優れた後輩の輩出のために、先輩としての同窓生から惜しめない応援をおくりたいと存じます。

併せて、2005年が創立120周年になる北陸学院全体の発展にも、祈りと思いを寄せて頂きますよう、皆様方のご理解とご支援を、心よりお願い申し上げます。

最後に会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

母校からの
メッセージ



学長 大隅 恵子

2004年度が始まって、まもなく2ヶ月が過ぎようとしています。みずみずしい新緑に囲まれ、三小牛は一年でもっとも活気にあふれた季節を迎えています。新入生も短大生らしい雰囲気キャンパスに溶け込んできました。

今年は、338名の新入学生を受け入れました。どうしても学科によって定員充足率に偏りができてしまいます。保育学科は苦しい選抜を余儀なくされ、苦慮しました。今年度の特徴としては、英語コミュニケーション学科に例年より多い志願者がありました。早期英語教育の必要性の声があちこちで聞かれるようになり、早くから英語の運用能力の重要性を訴え続けてきたのに一因があるのではと密かに分析しています。いずれにしても二年間で完結する教育制度の特徴が十分理解されなければならぬと感じています。短期で完結するということは、修業後の選択の道が多種あり、本人がそれだけ自分の将来への確かな計画性を立てられるということです。就職、編入学、留学、さらに短期の資格取得の道へ多岐に渡ります。まだ、自分の将来設計が十分納得できていない時期には有利な制度といえます。昨年の卒業生の動向も、専門職の資格を取得した人は、その免許状を活かして就職したのが大半を占めていますが、編入学者は国立名古屋大学や信州大学の3年次に入っていますし、その他の指定私立大学や留学と年々多様な分野へ選択の幅を広げています。

また、入学してくる学生の中に、少数ではありますが確実に増えているのが、社会人特別選抜制度での入学生です。年齢も20代後半あるいは30代の人、また経歴もさまざまですが、再度勉学の志を持つ入学者が10代の学生と同じキャンパスでいい刺激を相互に与えている短期大学の新しい姿として誇らしく感じています。



たえなる^{みちしるべ}道標の光よ (讃 288)

学院長

井上良彦



今年はまっ赤なグミの実が、枝もたわわに熟した。うちの小学生たちが三々五々襲撃してきて、またたくまに採りつくしてしまった。三小牛の丘は、花も木もみずみずしい粧いで、春から夏へと向かっている。

日本中が少子化と高齢化であえいでいる。その影響を学院も受けないわけではない。幼・小・中・高・短大のどの部門も(保育学科を別にして)数を減らした。学校経営上で直面している困難は現実である。

デフレとか縮小とかの社会経済的な情況には、日本の歴史はあまりうまく対応したことがない。生きのびるために、ただうらたえることが多かった。そういう対応策を現今では「スピードと変革」と称して、勝者と敗者を分ける規準とされている。教育のばあいは、果してそれが適切だろうか。

周回遅れのランナーが、先頭より前を走っていると、レースをリードしているようで、笑ってしまうことがある。ゴールがあるから、そうなる。ゴールがなければ先も後もない。

「六日のアヤメ、十日のキク」—端午の節句は5月5日であるから、翌六日に花菖蒲を贈っても間に合わない。9月9日の重陽の節句の花は菊、十日では遅い。「遅れている」という狼狽が、日本の近現代史を衝き動かしてきた。

旧約の民は、「乳と蜜の流れる」約束の地をめざして、旅をした。地中海沿いを北上すれば、近い。だが神は紅海に沿う「荒野の道」に、民を迂回させられた(出エジプト13・18)。訓練・忍耐・信仰を学ぶためであった。

前途にある未来を、私たちは見ることができようか。できない、と思う。神はおできになる。「摂理」を英語で providence という。pro(前方へ)と video(見る)の合成語である。神のみは未到の時間を、まさに来たらんとする将来として、捉えておいでになる。そして、その時に適わしくあるように、私たちを準備し、鍛え、訓練される—これを摂理の信仰という。

私たちはいま、前途が見えない状況に閉じこめられている。求められているのは何か。その智恵を得たい。

南 信子先生を偲ぶ

保育学科 3回生 1953年度卒業
鈴木優子

南先生が召されてから10ヶ月になろうとしています。時が経つにつれて懐かしさと淋しさがひしひしと感じられることは、先生が生徒一人ひとりをこよなく愛し、伝道し、よく祈り、悩みある者、悲しむ者、迷える者に愛をもってよき指導をして下さったからでしょう。

2ヶ年の学びで幼児教育の重要性を学ばせていただき、人間形成の基礎は幼児期にあることを進歩的な理論と方法のもとに特色ある教育をされ先生の細やかな行き届いたご指導を私も母子2代にわたって受けた先生の愛を心から感謝する者です。また、神に仕える保育者として使命に立たせて下さり使命感は牧師夫人の使命に通ずる筈であると。

「先生から最後にいただいたお便りに“卒業生の皆さんがキリストに仕える姿を見ること”これ以上の幸せはないと最近しみじみ感じます。」と。

私たちの背後に南先生のとりなしの祈りがいつもあったことを思い、3年前から3回生は月1回“とちの木祈禱会”を発足しましたが、先生は大変喜んでくださり、祈りの火を消さないで—と電話で励まして下さいました。昨年“故南 信子先生を偲ぶ集い”で短期大学学長・保育学科長の犬隅恵子先生が「南先生は召命に生きた方である。召命は神の呼びかけに答えることで使命感は自分の角度から自分の思いである—」と。

南先生は保育一筋のご生涯で神のみ業の顕われん為に



ひたすら歩まれました。先生とはこの地上で再びお会いすることは出来ませんが今や義の栄冠を頂き先に召された方々と共に楽しい時を持っておられることでしょう。天国での再会する日を待つ思いでいっぱいです。

そこで南先生という優れた保育者から沢山の教えを受けた私たち。その教えを受け継ぎ又、伝えて行く使命があると思っておりますのでつぎのように計画いたしました。

タイトル“南 信子先生から学んだこと”
保育の事、信仰の事、生き方のこと等々心に残っている教え、南先生のことばの端々などハガキ1枚程度に纏めて書いて下さい。

回生、名前を書いて(時候の挨拶はぬき)下記へ至急送って下さい。

〒362-0041

上尾市富士見2-3-33

秋山星子先生宛に

〆切8月31日まで

以上紙面を借りてお願いいたします。

故 南 信子先生記念会

9月12日(日)午後2時より
於 金沢教会

上記のこと、後事を託された深谷松男様より、ご依頼がありましたので、お知らせします。

中山 幸恵さん

2000年度卒業
人間福祉学科1回生

福祉の仕事に就き早4年目となります。高校時代入院し、その時の同室者のお年寄りの方々との出会いをきっかけに福祉の仕事を目指し、北陸学院の人間福祉学科に進学。今は老人保健施設の介護士として働いています。夢が叶ったのですが、実際働いてみると理想と現実の違い、楽しいことばかりではありません。体力勝負の仕事なので肉体的に厳しく、夜勤があったりと不規則な生活になるので体をコントロールするのが難しかったり…。時間に追われてお年寄りの要望を十分に聞くことができなったり…。まだまだ足りないところばかりで毎日反省点だらけです。そんな時の元気の源はやっぱり、お年寄りの笑顔や「ありがとう」の言葉ですね。それがあって辛い仕事も乗り越えられるし、続けようと思えます。そして、お世話させていただけるという喜びを感じられます。これからは初心を忘れず、お年寄りに喜んでいただけるよう最高のケアを求めてがんばります！

は相変わらず大変です。その時々悩むことがあって、いつかは楽になるなんてことはないですね。ところで、私が北陸学院で働いている間に英語科から英語コミュニケーション学科に、そして来年度からはコミュニティ文化学科へとかわります。母校ですって働きつづけてくれたことに今は感謝しています。同窓生の皆さん、大学受験の娘さんがいらしたら、ぜひ親子で短大のオープンハウスなどの行事に足を運んでみてはいかがでしょうか。お会いできるのを楽しみにしています。

長田 敦子さん

1978年度卒業
食物栄養学科15回生

同窓生—ing

母校で学んだことを活かして、
様々な場面で活躍されている
5人の方々をご紹介します。

卒業して25年になります。残念ながら、勉強を生かした職場で、働く事は出来ませんでしたが、家族での英国駐在生活を終えて、地元に戻り、子育ても一段落して、いざ私に出来るものは何かと考えていたら、町の広報の食生活改善推進員養成講座の受講生募集の記事が、目の前に！これだと飛び込んだボランティア活動も、とても楽しく、義父母の世話に支障のない範囲で、

保健センター主催の離乳食講座のお手伝いや、各栄養教室のスタッフとしての参加。会主催の「ひとりぐらし高齢者への配食サービス」のお弁当作りなど、マイペースで参加しています。常に新しい発見があり、自然と人にやさしく出来るのも、短大で学んだ基礎があるからと思いい、感謝しております。私らしく、明るく、これからも頑張っていきたいです。

大塚 靖子さん

1981年度卒業
教養学科13回生

北陸学院を卒業して22年が経ちました。結婚を機に専業主婦となり16年、6回の引越しと子育てで忙しく、やっと最近、岐阜に落ち着きまして、自分自身のことを考えられる様になりました。35才を過ぎた頃から何か長く続けられる習い事かと思ってお習字「かな習字」を習い始めました。引越して、なかなか思うようにはいきませんでした。何とかいまだに続けております。良い先生に恵まれ楽しくやっているので、相変わらずお習字は下手なのが難点です。昔から習うことに意義があると思ひ頑張っています。短大時代に勉強とは一生続くものだと先生が言われた事が今になってしみじみ思い出され、これからは、いろいろな事に頑張っていきたいと思っております。



関 那緒子さん

1997年度卒業
保育学科47回生

幼かった頃からずっと憧れていた職業、それが“幼稚園の先生”でした。北陸学院の高校、そして短大の保育科で様々な事を学び、現在は附属扇が丘幼稚園で毎日過ごしています。神さまに導かれ自分が今、保育の現場に携わることができるのは、本当に幸せな事だと感じています。子ども達は毎日元気いっぱい！その中で笑ったり、泣いたりしながら日々成長しています。私自身も子ども達の素直な心、豊かな想像力に感動し、いろいろな事を教えられます。子ども達のもっているパワーって、ほんとにすごい☆ですね。緑の美しいこの時期は、よく三小牛のグラウンドに園外保育に出かけます。学生の頃は、あまり目を向ける事もなかった、三小牛のグラウンドですが、一緒に出かけてみて、からだ全体で豊かな自然が感じられる何とも素敵な場所なんだなあと、今では私も大好きです。これからも、子ども達と一緒に新たな発見にチャレンジしていこうと思います。



池中 雅美さん

1981年度卒業
英語コミュニケーション学科17回生

こんにちは。英語科17回生の皆さんお久しぶりです。それから私が知っている卒業生の皆さんお元気ですか？さて、私が北陸学院で働き始めてからもう20年とちょっとが過ぎました。現在は短大の仕事と幼稚園の英語にも関わらせて頂いています。子どもって本当にかわいいですね。子どもから元気をもらって楽しくやっています。うちの娘は中3、息子は小5になりましたが、大きくなって子育て



栄光台をたずねて

■ 人間福祉学科

5周年目の節目

助教授 真砂 良則



少し古い話になるが、昨年12月に石川県介護福祉士会が主催する研修会にお招きいただいた。この研修会は、福祉施設や病院など、県内のさまざまな領域で働く介護福祉士の現任研修として開催されたものである。当日は4名の方が事例や実践の取り組みの発表を行った。いずれも興味深い内容であったが、なかでも、「生活リハビリの実践を通しての学び」と題した発表が目をついた。

まだ年若いその発表者は、ベテランの発表者の中にあっても、わかり易く堂々としたプレゼンテーションであ

った。テーマは目新しいものではなかったが、堅実な内容と良き実践を伺わせるもので、今後ますます期待のもてる発表であったと思う。実社会に出て3年目に入った本学科1期生の発表であった。

ところで、利用者を24時間365日あずかる福祉施設や病院の勤務は、変則である。その平日の休みを利用して、卒業生がしばしば顔を見せにきてくれる。近況報告や資料調べ、職場の悩みの相談など、いろいろである。ともあれ、それぞれに課題をもって真摯に取り組んでいる様子である。

今年は、本学科開設5周年。卒業生の人間的成長と地域における活躍を実感しつつ、本学科の更なる発展に勤めたい。

■ 食物栄養学科

食中毒菌に耐える体質づくりを

教授 山口 務



私は本学で食品衛生学、栄養学などを担当しています。今年も食中毒の発生しやすい時期を迎えますが、今回それについて2、3お話ししたいと思います。

食品の生菌数をゼロにするのは果たしてよいことでしょうか。「生菌数をゼロに近づけるほど、製品の味は落ちる」と、ある水産練り製品会社社長は言っています。

中国を旅行した多くの日本人は下痢に悩まされますが、その水道水も、現地の人々には特に問題はないようです。ただ彼等も数ヵ月外国で生活した後戻ってくると下痢をおこし、再び土地の水に慣れるには少し時間がかかるそうですが…。

また、最近日本や旧西ドイツの子供たちに食物アレルギー

ギーが増えています。衛生環境のよくない旧東ドイツの子供には少ないと言われていました。このことは、血液中の抗体価や寄生虫感染率が高いほど、アレルギーに対する免疫力が備わっていることを示しています。

日本人は清潔さを重視し過ぎるという意見も出ています。腸内には大腸菌をはじめ多種類の菌が共生していますが、これらの菌はすべて有害とばかりは言えません。昔の子供のように泥んこになって遊び、食中毒菌に抵抗力をつけることも必要です。なぜなら現状の殺菌法に抵抗する耐性菌がいつか現れ、それを殺すためにさらに強い処理が必要になります。いわゆる「いたちごっこ」の繰り返しによって栄養素や味の損失を招き、それを食べる人間の方に障害が起きかねません。過剰な清潔指向により耐性菌と戦うよりも、細菌と共存できる体質づくりの必要が言われ始めています。健康に支障がない程度の弱い食中毒菌製剤を開発し服用するなど、体質改善をする試みも行われています。

■ 保育学科

キャンパスの百合

教授 児玉 衣子



三小牛キャンパスの目立たない場所に笹百合が自生していて、毎年、梅雨の少し前に花を咲かせます。淡いピンクの花を木陰に見出す時、胸がときめきます。

近代幼児教育の創始者フレーベルにとって、白百合は子どもを育む母親の愛情と思慮深さの象徴であり、また神に創られたこの世界の真と美と善の象徴でもありました。そんなにも心惹かれる白百合に、彼は若い日に庭園(理想表現の空間)で出会ったのでした。

庭園の花壇に白百合がなければ中心がないと感じたフ

レーベルは、晩年に至って幼児教育を創造し、そのための施設にキンダーガルテン(子どもの庭、幼稚園)という名前をつけました。彼は、人間の発達を神から与えられた神性の一表現と考えたからこそ、人生の最も細心に育てられるべき時期の教育を創り出し、その教育のあり方を「子どもの庭」という名前に込めたのでした。この庭で子どもは安心して過ごしてほしい、導かれて神性を損なわずに育てて百合の花のように咲いてほしい、それが人間としての成長だという……。

笹百合は野生の百合ですから、白百合ほど堂々としてはいません。少しの風にも揺らいでいます。けれども、たおやかな姿は忘れられない印象を残します。

年毎に樹々も草花も美しく豊かになる三小牛キャンパスです。どうかいつでも訪れて下さい。

■ 英語コミュニケーション・教養学科

「コミュニティ文化学科」に生まれかわって、2005年度よりスタート！！

英語コミュニケーション学科長 澁谷 良穂
教養学科長 高島 涼子

新しい学科が誕生します！英語コミュニケーション学科・教養学科を改組、発展させ、幅広い学びや資格取得を可能にした学科です。キリスト教に基づいた人格教育、英語教育、教養教育に加えて、現代社会や高校生の多様なニーズに応えるために、さらに多くの科目や資格が取れるようになります。従来の2学科の特色を生かすとともに、社会に必要な知識・技能をはじめ、生涯学習、地域に関する課題など、多岐にわたる学習内容を設定し、地域社会や学生のニーズに柔軟に対応するカリキュラムとしました。

○コミュニティ文化学科とは…

学生一人ひとりが将来の夢を実現するため、「なりたい自分」探しに挑戦できるように様々な角度から学ぶ学科です。英語コミュニケーション学科・教養学科を「柱」にしながら、さらに幅広い分野の学び、地域学習、資格取得への挑戦を通して、将来地域社会（コミュニティ）や国際社会で活躍できる女性の育成を目指します。

○コミュニティ文化学科の特色

1. 一つの学科にしながら、幅広い分野の教育内容を、自分の興味・関心、能力・適性を生かして主体的、総合的に学ぶことが可能です。「英語をコミュニケーションツールとして学び、多文化理解の力をつける」「女性として、人間として必要な教養を身につける」「自己表現力やコンピュータ活用能力を高める」「高齢化社会における在宅介護やエイジングの問題、子どもと家庭、食文化や健康管理などについて学び、理解を深める」など、幅広く学ぶことができます。
2. 自分達の住む北陸の地域について文化や歴史、風習、経済、食、環境など、様々な角度から学ぶことができます。たとえば「地域活動セミナー」では、金沢の文化的行事（百万石祭りなど）にボランティアスタッフとして参加し、実践を通して地域への理解を深めます。また、「英語でガイドする金沢」では外国人講師と一緒に金沢の観光スポ

ットや金箔などの伝統工芸についてシンプルな英語で紹介できるよう練習します。

3. 資格関連科目が充実しているのでいろいろな資格取得に挑戦できます。科目や資格を自分で選んで組み合わせ、自分だけのカリキュラムを作れます。司書、中学校教諭二種免許（英語）、幼稚園教諭二種免許、小学校英語指導者認定証、子ども英語インストラクター、医療管理秘書士・医療管理士・介護保険事務管理士（受検資格）、ホームヘルパー2級、（上級）情報処理士、プレゼンテーション実務士、フードコーディネーターなど、全部で17の資格があります。さらに、英検やTOEIC、TOEFL、秘書技能検定、Microsoft Office Specialist、簿記検定など、英語・コンピュータ・ビジネスなどの分野で就職や留学に役立つ検定資格にもチャレンジできます。

○目的や興味によって組み合わせはいろいろ…従来の資格プラスα（付加価値）で可能性が広がります！たとえば英語を教えられる幼稚園の先生や児童英語講師、小中学校に朗読の楽しさを教える司書、ホテルや空港、旅行会社で働く、病院の事務職に就くなど（この他、多くの組み合わせが可能です）。

北陸学院短期大学のよさを生かした学科です。多くの同窓生の皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。



● 英語コミュニケーション学科同窓の皆様へのお知らせ ●

「ディーター先生を囲んでのつどい」

2004年8月21日（土） 11：30～13：30

ニューグランドホテル 会費5,000円

申込先 eigo@hokurikugakuin.ac.jp

FAXのみ 076-244-5410（浅村）

076-262-2587（野坂）

076-280-3830（同窓会事務局）

◇ 2004年度総会報告 ◇

2004年5月22日(土) 開催 於 レストランMEGU

例年この時期に開催する総会は当日も天候に恵まれ、回生委員・役員・幹事が参集してここにご報告する議案について審議が行われました。また井上学院長・大隅学長をはじめ各学科長にもご出席をいただき、短期大学の現状と新しい計画についてお話を伺いました。



総会終了後もあちこちのテーブルで楽しい会話が尽きず、同窓の友との語らいには特別の喜びがあることを思わせられました。(出席者53名)

総会次第

- 礼拝 お話 北陸学院長 井上良彦先生
来賓挨拶 同窓会名誉会長 大隅恵子先生
総会挨拶 同窓会長 森 正栄

議事

- ① 2003年度活動報告
② 2003年度決算報告
③ 監査報告
④ 役員選出
⑤ 2004年度活動予定案 審議
⑥ 2004年度予算案審議
⑦ その他



同窓会奨学金の新設について

◆「コミュニティ文化学科」への学科改編について

英語コミュニケーション学科長 澁谷良穂先生

◆会食

2004年度 北陸学院短期大学同窓会役員名簿

Table with columns for Name (氏名), Graduation Department (卒業学科), and Position (e.g., 名誉会長, 副会長, 書記, 会計, 庶務, 幹事, 会計監事). Lists names like 大隅 恵子, 森 正栄, etc.

卒業学科 (現名称)

【2003年度 (2003.4.1~2004.3.31) 活動報告】

- 2003.4.5(土) 役員会
2003.4.19(土) 役員会
2003.5.17(土) 役員会
2003.5.24(土) 2003年度総会 開催 (於: シティモンドホテル)
2003.6.21(土) 役員会
2003.7.20(日) 同窓会会報『栄光台の薫風』第3号発行
2003.7.26(土) 同窓会会報発送作業
2003.9.6(土) 役員会
2003.9.27(土) 役員会
2003.10.3(土) 役員会
2003.10.25(土) 蚤の市案内チラシ配布 献品整理
2003.10.30(木) 同窓会賞授与式 蚤の市献品仕分け作業
2003.10.31(金) 蚤の市 会場設営と陳列
2003.11.1(土) 第8回蚤の市開催 (北短祭併催)
2003.12.13(土) クリスマス礼拝 (番匠鐵雄記念礼拝堂)
日本基督教団金沢教会伝道師 宍戸 恵先生
クリスマスリース製作とお茶の会
短大オープンハウス「北陸学院のクリスマスと受験相談の集い」ーに来学の高校生も参加し、同窓生と交流した。
2004.2.21(土) 役員会
2004.3.8(月) 同窓会入会式 (新入会381名)
2004.3.12(金) 役員会

【2004年度 (2004.4.1~2005.3.31) 活動予定(案)】

- 2004.4.5(月) 役員会
2004.4.14(水) 役員会
2004.5.8(土) 役員・幹事会
2004.5.22(土) 2004年度総会 開催
2004.4.5.7月上旬 会報編集作業
2004.7.10(土) 同窓会会報『栄光台の薫風』第4号発行
2004.7.17(土) 同窓会会報発送作業
2004.9初旬~ 蚤の市献品受け入れ・整理事業・PR・チラシ配布等
2004.10.28(木) 同窓会賞授与式 蚤の市準備
2004.10.30(土) 第9回蚤の市開催 (北短祭併催)
2004.12.11(土) クリスマス礼拝 (短大オープンハウスに協力)
2005.3.10(木) 入会式

2003年度 北陸学院短期大学同窓会 収支決算報告

Table showing income and expenses for 2003. Columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses), 備考 (Remarks). Total income: 9,083,515; Total expenses: 9,216,513.

*その他財産目録 期首(2003.4.1) 期末(2004.3.31)
定期預金 ¥12,519,804 ¥15,517,647
定額貯金 ¥11,193,000 ¥11,193,000

Table showing detailed expenses for 2003. Columns: 科目 (Category), 2002年度予算額 (2002 Budget), 2003年度決算額 (2003 Actual), 備考 (Remarks). Categories include 行事活動費, 会報費, 管理経費, etc.

*特別会計 期首(2003.4.1) 期末(2004.3.31)
奨学援助資金 ¥22,112 ¥571,584
* クリスマス献金を積み立てたものであり、その利息を含む
上記決算は適正且つ正確に行われたことを認めます。
2004年4月15日

監査 高島 涼子

監査 野坂 一江

2004年度 北陸学院短期大学同窓会 収支予算(案)

Table showing income and expenses for 2004 (budget). Columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses), 備考 (Remarks). Total income: 9,083,515; Total expenses: 8,629,862.

*その他財産目録 (2004年3月31日現在) 定期預金 ¥15,517,647
定額貯金 ¥11,193,000

Table showing detailed expenses for 2004 (budget). Columns: 科目 (Category), 2003年度予算額 (2003 Budget), 2004年度決算額 (2004 Actual), 備考 (Remarks). Categories include 行事活動費, 会報費, 管理経費, etc.

*特別会計 期首(2004年3月31日現在) 奨学援助資金 ¥571,584

Click! 短大通信

北陸学院短期大学 Open House のご案内

第2回 2004年8月2日(月)～8月4日(水) 9:00～12:00
13:00～15:30

★希望学科での体験学習。

希望学科の模擬授業を体験できます。
キャンパス見学、留学相談会、寮の見学会など。

第3回 2004年9月18日(土) 13:00～16:30

★卒業生のお話を聞こう。

各分野で活躍する卒業生が、職業体験談をお話します。
模擬授業、キャンパス見学等にも参加できます。個別相談では、入試情報を中心にご説明します。

大学祭 2004年10月30日(土) 13:00～15:00

★進学相談コーナー。

大学祭(北短祭)と合わせて、「進学相談コーナー」を開設します。学科や入試のこと、何でもご相談に応じます。お気軽に参加して下さい。

第4回 2004年12月11日(土) 13:00～15:30

★クリスマスと受験相談の集い。

北陸学院のクリスマス行事に参加してみませんか?ハンドベル演奏、進学相談会も行います。1・2年生の参加も歓迎!

【お問い合わせ先】 北陸学院短期大学 入試広報課 〒920-1396 金沢市三小牛町1-11
TEL&FAX 076-280-3855 E-mail nyushi@hokurikugakuin.ac.jp

北陸学院短期大学附属幼児児童教育研究所主催

日時: 2004年8月7日(土)
時間は各科目欄をご覧ください。
場所: 北陸学院短期大学
費用: 1科目1人 ¥1,000

2004年度夏期講習のご案内

- A 実技「ハンドベルを奏でよう」(13:00-16:00) 指導: 多保田治江氏(本学教授)
- B 講義「子どもの人間関係と保育計画」(9:30-11:00) 指導: 菅原 創氏(本学助教授)
- C 実技「からだで表現2」(13:30-15:00) 指導: 田邊圭子氏(本学講師)
- D 実技「おしゃもじ人形製作」(10:00-11:30) 指導: 児玉 衣子氏(本学教授)
瀬戸 美江氏(保育教材室勤務)

【お問い合わせ・お申込み】 北陸学院短期大学附属幼児児童教育研究所 所長 児玉衣子まで
TEL 076-280-3850(代) FAX 076-280-3851

★人間福祉学科開設5周年記念特別公開セミナーのご案内★

- 日時 2004年10月2日(土) 13:30～
- 1部 実践報告(介護実習の現場から)
- 2部 講演「やさしい街 やさしい人」
- 場所 石川県女性センター
- 講師 石井めぐみ氏(女優)

同窓生の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

2005年4月 コミュニティー文化学科がスタートします

学生一人ひとりが将来の夢を実現するため、「なりたい自分」探しに挑戦できるように様々な角度から学ぶ学科です。これまでの英語コミュニケーション学科・教養学科での学びを「柱」にしなが、さらに幅広い分野の学び、地域(体験)学習、資格取得への挑戦を通して、将来地域(コミュニティ)で活躍する女性をめざします。

目的や興味によって組み合わせはいろいろ… 従来の資格+プラスα(付加価値)で可能性はひろがります!

<p>例えば……</p> <p>英語も教えられる幼稚園の先生になりたい</p> <p>幼稚園教諭二種免許 十小学校英語指導者認定証 または 子ども英語インストラクター</p>	<p>例えば……</p> <p>情報社会に対応した幼稚園の先生になりたい</p> <p>幼稚園教諭二種免許 十情報処理士 十プレゼンテーション実務士</p>	<p>例えば……</p> <p>食生活や健康の知識を持つ幼稚園の先生になりたい</p> <p>幼稚園教諭二種免許 十保健児童ソーシャルワーカー 十フードコーディネーター3級</p>	<p>例えば……</p> <p>英語で多文化社会に対応できる司書になりたい</p> <p>司書+TOEIC+英検</p>
<p>例えば……</p> <p>小中学生に読書の楽しさを伝える司書になりたい</p> <p>司書+中学校教諭二種免許 または 子ども英語インストラクター 十プレゼンテーション実務士</p>	<p>例えば……</p> <p>幅広い年齢の子どもたちに英語を教えたい</p> <p>中学校教諭二種免許+TOEIC 十子ども英語インストラクター</p>	<p>例えば……</p> <p>情報技術の専門家として図書館で働きたい</p> <p>司書+情報処理士 十プレゼンテーション実務士</p>	<p>例えば……</p> <p>介護の知識をあわせ持つ病院事務の専門家になりたい</p> <p>介護保健事務管理士受験資格 十医療管理秘書士受験資格 十ホームヘルパー2級+情報処理士</p>

<p>資格</p> <p>卒業時に取得可能なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●司書 ●中学校教諭二種免許(外国語[英語]) ●幼稚園教諭二種免許 <p>資格取得を支援するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食生活アドバイザー検定 ●実用英語技能検定 ●TOEIC 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校英語指導者認定証 ●子ども英語インストラクター ●介護保険事務管理士受験資格 ●医療管理士受験資格 ●医療管理秘書士受験資格 ●TOEFL ●ビジネス英語検定 ●観光英語検定 ●通訳技能検定 ●ボランティア通訳検定 	<ul style="list-style-type: none"> ●医療事務士受験資格 ●保健児童ソーシャルワーカー受験資格 ●情報処理士 ●上級情報処理士 ●プレゼンテーション実務士 ●翻訳実務検定 ●福祉住環境コーディネーター ●Microsoft Office Specialist ●情報処理技能検定 ●日本語ワープロ検定 	<ul style="list-style-type: none"> ●訪問介護員(ホームヘルパー)2級 ●社会福祉主事任用資格 ●レクリエーション・インストラクター ●フードコーディネーター3級 ●漢字検定 ●秘書技能検定 ●Eメール活用検定 ●簿記検定 ●ビジネスコンピューティング検定
---	--	---	--

退職

- 英語コミュニケーション学科…… マリ・クラップサダル 講師
- 人間福祉学科…… 側垣 順子 助教授
- 入試広報課…… 河崎 勉 進路指導アドバイザー
- 保健室…… 西村 ヒデ子 養護教諭

新任

- 英語コミュニケーション学科…… メアリ・イウォルド 講師
- 英語コミュニケーション学科…… 前垣内 紀三子 実験実習助手
- 人間福祉学科…… 道下 千春 助手

